受入団体名：京都府立堂本印象美術館

プロジェクト名：堂本印象美術館活用方法発掘プロジェクト

募集人数

10名

<活動期間：2025年10月1日～2026年1月10日 活動日数：15日以上>

<活動パターン>

■週1日：原則火曜日5限の予定。

授業予定や企画の進捗によっては追加で活動。

授業時間外ではWEB上で随時やり取りをします。

<主な活動場所>

堂本印象美術館・立命館大学

<キャンパスからの交通手段>

徒歩

<活動の流れ>

日時	活動内容
10/7(火)	顔合わせ・美術館紹介・活動内容・スケジュール確認
10/8(水)	展覧会の内覧会に招待(13時30分～15時)
10月中	美術館の活用方法の検討から実施計画の確定まで
11月中	新しい活用企画の実行と活用事例のコンテンツ化
12月中	活用事例コンテンツの公開と広報の実施
<参考> 10/9～12/21	堂本一族の肖像展 開催期間

<活動に必要な費用>

なし

<参加の姿勢>

何が必要か考える「知恵」と
ためらわず行動する「勇気」を持ち、
企画の完遂に向けてチームに
参加することを期待しています

<コミュニケーションの手段>

■電話 ■その他(Slackなど)

<活動のテーマと主な内容>

美術館の新しい活用方法を考え、実践し、形に残そう

堂本印象美術館は、日本画家の堂本印象が創設した美術館です。

美術館と言えば「ただ美術品を見る場所」というイメージを持たれがちですが、実はそれ以外の楽しみ方もあるのではないかと考えています。新しい楽しみ方が広まれば、今まで美術館に来る機会のなかった人も足を運んでくれるのではないかと考えています。

そこで今年の活動は、美術館の新しい活用方法を考え、それを皆さんの手で実施し、「堂本美術館にはこんな活用方法もあります！」という事例を残すことに挑戦してもらいます。

今回のプロジェクトのミッションは下記の2つです。

- ① **堂本印象美術館の活用方法を考え、実際に取り組んでみる**こと
- ② **その取り組みを形に残し、美術館の新しい活用方法を広める**こと

<活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

堂本印象美術館は立地こそ立命館大学衣笠キャンパスの向かいにありますが、来館者の内訳を見ると10代、20代の方の来館は全体の1割程度しかありません。また他の授業や大学に参加しても、あるいは立命館大学のOBの方と話をして「外から見たことはあるけれど入ったことがない」という方がたくさんいる状況です。

一方で堂本印象美術館は、建物や内装も堂本印象の作品の一つです。美術館の中で作品を見るだけでなく、広場で休憩する人や、庭園で遊ぶ子どもたちも見かけます。つまり美術館を「使う」ことも芸術体験の一つなのかもしれません。

そこで美術館に少しでも興味を持ってもらえるように、美術館の新しい活用方法を考え、実践し、外に発信するために学生の皆さんの知識と経験と感性を借りたいと思い、今回の活動を企画しました。

<学生が期待できる学び>

本プロジェクトの具体的な活動は【美術館の活用方法の考案と実施】と【活用事例のコンテンツ化と広報】です。

企業や組織の活動にあてはめると、「広報」や「宣伝企画」や「プロモーション」にあたります。またそれを実施するためのチームとしての活動は、いわゆるプロジェクトマネジメントです。どちらのスキルも現代の社会生活を送るうえでは不可欠な要素です。またプロジェクトリーダーは輪番制としますので、全員が進行管理やメンバーへの指揮命令を経験することになります。

活動を終えたみなさんは、プロモーションとプロジェクトマネジメントの実務を経験して、物事の魅力や価値を見出す企画力、それを形に変える設計力、チームを動かし企画とプロジェクトをゴールに導く実行力を習得できると考えています。

<活動紹介>

これまでの活動現場での取り組みなど、プロジェクトや団体プログラムについて理解が深まる情報を、写真や注釈などを含めて、ご記入ください。

この部分にお示しいただいた内容を、そのまま受講ガイドに掲載いたします。

別途作成される際はMicrosoft PowerPointのファイルを送信願います。

印刷は白黒でいたしますが、ウェブでのPDF配布版はカラーで提供します。

堂本印象と美術館のこれまで1/4

《美術館外観》

《美術館ロビー》

堂本印象と美術館のこれまで2/4

《深草》 1919年(28歳)

《木華開耶媛》 1929年(38歳)

《疑惑》 1954年(63歳)

《交響》 1961年 (70歳)

堂本印象と美術館のこれまで3/4

1891年	京都市上京区に生まれる
1910年 19歳	京都市立美術工芸学校卒業 西陣織の図案家になる
1918年 27歳	京都市立絵画専門学校入学
1919年 28歳	第1回帝展に初入選
1952年 61歳	初めてのヨーロッパ
1961年 70歳	文化勲章受章
1966年 75歳	堂本美術館開館
1975年 83歳	逝去

堂本印象と美術館のこれまで4/4

1966年「**堂本美術館**」として開館

- 堂本印象が設立した美術館
- 建物からドアノブまですべてが堂本印象のデザイン
- 渡欧の際に目にした宮殿や芸術家個人の美術館を参考

1992年「**京都府立堂本印象美術館**」へ

- 作品、美術館、財産が京都府へ寄贈

2025年 開館してから59年が経過

- 公益財団法人京都文化財団が指定管理者
- 国の**登録有形文化財**へ登録決定

《開館当時の美術館》1966年

立命館と美術館との連携1/6

観光案内マップの制作と配布(20か所1000部)

立命館と美術館との連携2/6

学生企画（衣笠フェスティバル）の作品展示

立命館と美術館との連携3/6

美術館紹介動画
日・英・中3か国語対応

堂本印象紹介動画
落語研究会協力

立命館と美術館との連携4/6

美術館前のバス停への広告掲出

立命館と美術館との連携5/6

美術館・堂本印象作品をモチーフにした衣装製作
美術館を舞台にした動画制作

立命館と美術館との連携6/6

domoto_insho
京都市立堂本印象美術館

domoto_insho 堂本印象美術館限定で発売しているオリジナルマスキングテープ
いずれも印象作品をモチーフにした柄で、お土産にもぴったり!!
ぜひ堂本印象の世界観をお家でも楽しんでみてください😊

※本投稿は、立命館大学の授業「現代社会とボランティア」で学生と美術館の協働により作成しました。

Original masking tape which is sold exclusively at the Kyoto Prefectural INSHO-DOMOTO Museum of Fine Arts. It is a pattern with Insho's work

[インサイトを見る](#)

👍 🗨️ 📌

🍓 strawberryfields_kyotanabe、他24人が「いいね!」しました

8月27日

😊 コメントを追加... [投稿する](#)

SNS用記事の制作

← **堂本印象美術館**
87件のツイート

色彩豊かな《豊雲(下絵)》はある場所の壁画下絵として描かれました。なんと壁画は幅11mを越える超大作!壁画が飾られていた場所はどこ?正解は明日!
※本投稿は立命館大学の授業「現代社会とボランティア」で学生と美術館の協働により作成しました

国会議事堂	21.9%
最高裁判所	37.5%
ディズニーランド	9.4%
立命館大学	31.3%

32票・最終結果

🗨️ 1 🔄 4 🍎 8 📌 🏠

堂本印象美術館 @DOMOTO_Insho · 8月13日
堂本印象 《豊雲(壁画下絵)》1973年 京都市立堂本印象美術館蔵
※本作品は生誕130年 堂本印象展で展示中です

🗨️ 1 🔄 1 🍎 9 📌 🏠

堂本印象美術館 @DOMOTO_Insho · 8月14日
正解は「最高裁判所」でした!
制作について印象は、最高裁とはいえ会議室なので部屋の雰囲気をもくしようとして色彩を豊かにしたと語っています。
★《豊雲(最高裁判所大会議室壁画下絵)》は生誕130年 堂本印象展に出品中。ぜひご来場ください。

シチズンシップ・スタディーズのこれまで

年度	企画概要	成果・実施事項
2024年度	観光案内マップの制作と配布	マップの制作と配布先の選定、設置交渉を行い、衣笠地域20カ所の店舗、寺社など20カ所に1000枚のマップを設置。
2023年度	プレゼント付 展覧会チラシの配布	展覧会チラシを学内で300部配布。
2022年度	SNS記事の制作と配信	Instagram・X用の記事(動画・ポスター等)を約20本制作、約7000のインプレッションを獲得。